

歴史6章3節 40問

1	1929年ニューヨークの株式市場の株価暴落に始まる世界的な大恐慌	21	1931年9月18日、関東軍が南満州鉄道の線路を爆破した事件をきっかけに、満州を占領した軍事行動
2	1933年からアメリカで行われた、積極的な公共事業・生産調整などの一連の政策	22	1932年、満州地域に建国した国
3	1933年からアメリカで行われた、積極的な公共事業・生産調整などの一連の政策を行った大統領	23	1932年、満州地域に建国した国の元首となった、清の最後の皇帝
4	貿易のさい、輸入量を制限したり、輸出品に補助金をあたえたりして自国産業を保護すること	24	中国の訴えを受けて日本の軍事行動を調査した国際連盟の調査団
5	本国と植民地の貿易を拡大し、他国の商品に高い関税をかける経済体制	25	国際連盟を脱退した日本が、ファシズム諸国に接近する中でドイツと結んだ協定
6	個人の利益よりも国家全体の利益を優先させる考え	26	1932年、海軍将校らが当時の首相を暗殺した事件
7	イタリアやドイツで広がった、全体主義や対外侵略などを掲げる政治運動	27	満州国に否定的な立場を取り、1932年の事件で暗殺された首相
8	1922年にイタリアの首相となり、ほかの政党を禁止するなどして独裁的な政治を行った人物	28	1936年、陸軍将校が大臣らを殺害し東京中心部を占拠した事件
9	1922年にイタリアの首相となり、ほかの政党を禁止するなどして独裁的な政治を行った人物が率いた政党	29	貿易をめぐる国と国との対立
10	ドイツで独裁的な政治を行い、ユダヤ人を迫害するなどした人物	30	中国共産党の指導者（のちの中華人民共和国の主席）
11	ドイツで独裁的な政治を行い、ユダヤ人を迫害するなどした人物が率いた政党	31	1937年、盧溝橋事件をきっかけに起こった戦争
12	1924年から8年間続いた、二大政党の党首が内閣を組織する慣例	32	日本に対抗するため中国国民党と中国共産党が協力したこと
13	1923年9月1日に東京・横浜を中心に起こった大震災	33	1937年に日本軍が南京を占領した際、一般人や捕虜などを含む多数の中国人を殺害した事件
14	1927年に取り付けさわぎが原因で起こった恐慌	34	日中戦争のさい、アメリカやイギリスなどが中国を支援するために用いた輸送路
15	世界恐慌の影響が1930年になって日本にもおよび、起こった恐慌	35	戦争に向けた国家体制
16	孫文のあとをついで中国国民党(国民政府)の指導者となった人物 のちに中国国民政府の指導者	36	戦争に向けた国家体制を実施した総理大臣
17	軍縮条約を結び、反発した一部の軍人に襲撃された総理大臣	37	1938年に制定された、議会の承認なしに戦争に必要な人や物資を動員できる法律
18	1930年にイギリスやアメリカなど結ばれた海軍の軍縮条約	38	1940年、戦時体制が強まる中、多くの政党が解散し合流した組織
19	中国東北部(満州)に置かれた日本の軍隊	39	戦争を行うことを最優先にする考え
20	1931年9月18日、関東軍が南満州鉄道の線路を爆破した事件	40	植民地支配下の朝鮮の人々に対し、名前を日本風にしたり、日本語の使用を推し進めた政策

歴史6章3節 40問

1	世界恐慌	21	満州事変
2	ニューディール	22	満州国
3	ルーズベルト	23	溥儀
4	保護貿易	24	リットン調査団
5	ブロック経済	25	日独防共協定
6	全体主義	26	五・一五事件
7	ファシズム	27	犬養毅
8	ムッソリーニ	28	二・二六事件
9	ファシスト党	29	貿易摩擦
10	ヒトラー	30	毛沢東
11	ナチス	31	日中戦争
12	憲政の常道	32	抗日民族統一戦線
13	関東大震災	33	南京事件
14	金融恐慌	34	援蔣ルート
15	昭和恐慌	35	戦時体制
16	蔣介石	36	近衛文麿
17	浜口雄幸	37	国家総動員法
18	ロンドン海軍軍縮条約	38	大政翼賛会
19	関東軍	39	軍国主義
20	柳条湖事件	40	皇民化政策

1	恐慌	21	事変
2		22	国
3		23	
4	貿易	24	調査団
5	経済	25	協定
6	主義	26	事件
7		27	
8		28	事件
9	党	29	
10		30	
11		31	戦争
12	の常道	32	戦線
13		33	事件
14	恐慌	34	ルート
15	恐慌	35	体制
16		36	
17		37	法
18	条約	38	会
19	軍	39	主義
20	事件	40	政策

